



ご説明資料

株式会社Azit

2023年12月11日

ビジョン

『“日本ならではの”のモビリティの未来へ』



事業概要



日本独自の仕組みのライドシェア・プラットフォーム
運営当時の展開エリア

- ・都市（東京都）
- ・地方（鹿児島県与論島、栃木県那須町、長崎県五島市、北海道斜里町、新潟県山古志村）

COVID-19の影響で、2020年に運営を長期休止

既存の交通機関が存在しない地域の交通に大きく貢献

観光地や過疎地などの地方を中心に、地域の交通課題に寄り添う



CREWを利用すると
地元の人と話す機会があるので



1.呼ぶ

アプリを開いて出発地を指定
近くにいるドライバーが迎えに

約5 - 10分 ほどでお迎え



2.乗る

出発地で合流したら、
ドライバーと目的地までドライブ

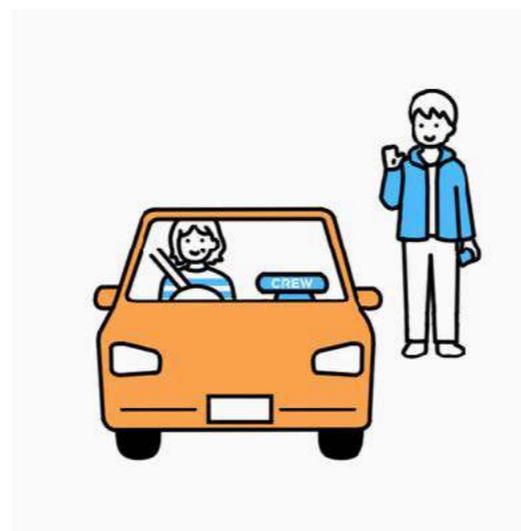
平均乗車時間は約20分



3.降りる

目的地に到着したらアプリで評価と決済を
「ありがとう」と言って降車

決済はオンライン完結



“おもてなし”と“ありがとう”の循環を

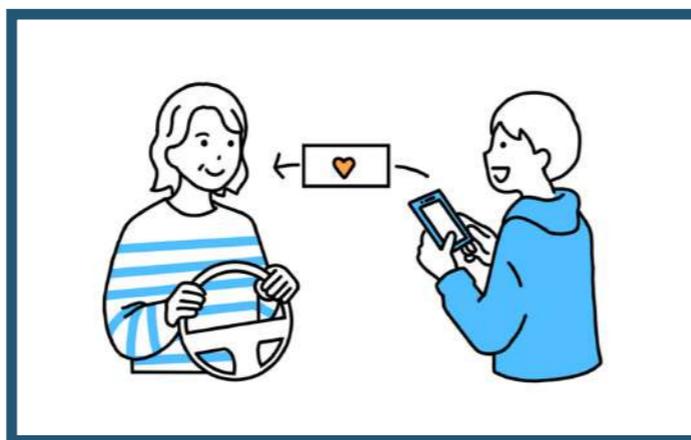
日本人の昔ながらの知恵をテクノロジーによって拡張したプラットフォーム

決済内訳

乗車後、クレジットカード決済



感謝の気持ちとして
乗車完了後に任意でのお支払い



移動の際に実際にかかった
ガソリン代と高速道路料金の費用

プラットフォーム手数料
通常 20円/マッチ+20円/分

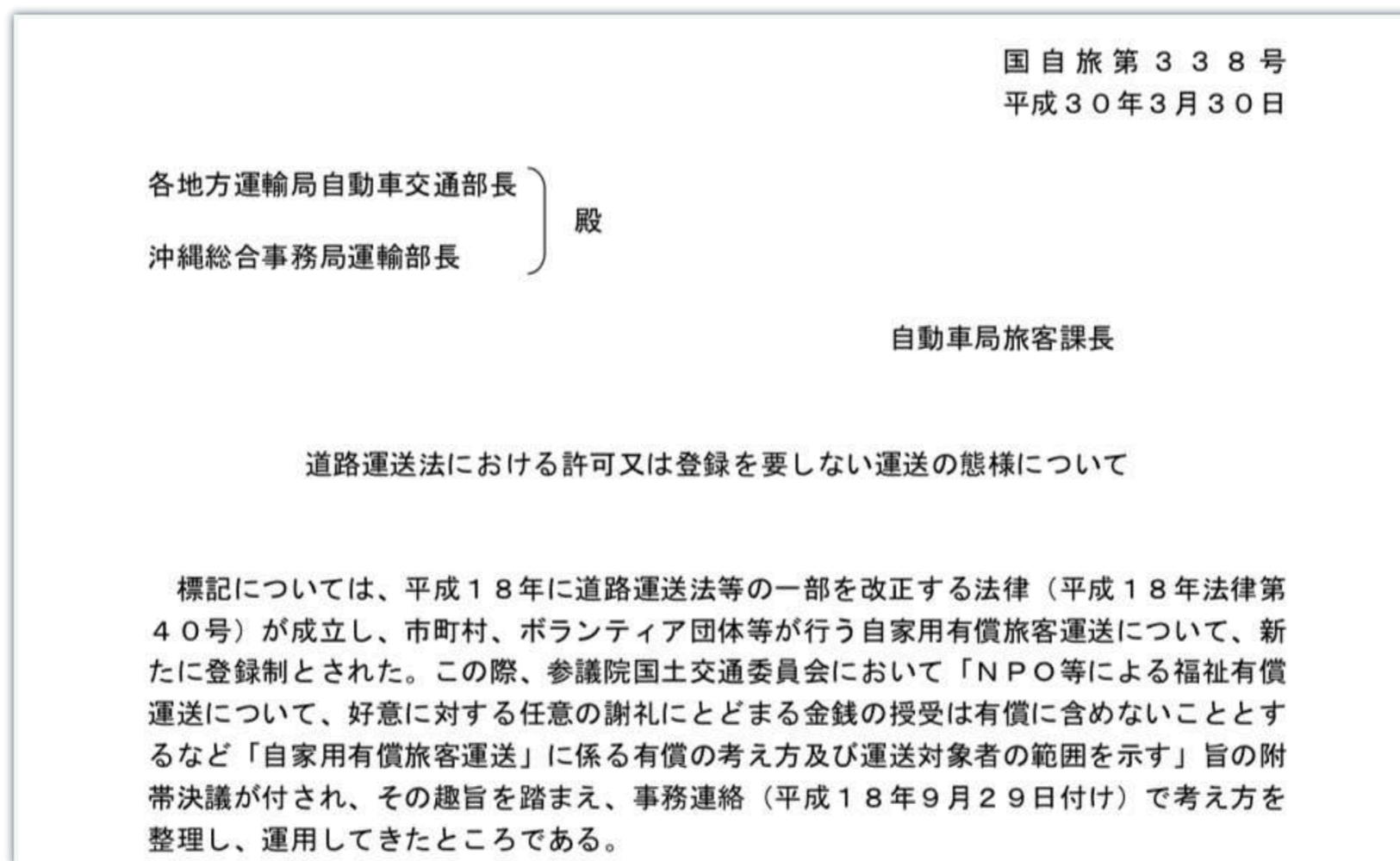
ドライバーの受取金額

プラットフォームの売上

CREWを念頭に国土交通省が2018年に通達を公表

実費に加え任意の謝礼を支払う形が、有償運送に該当しない事例として明記された

平成30年3月30日付けの国土交通省「国自旅第338号」



平成18年にガイドライン化された「道路運送法における許可又は登録を要しない運送の態様について」を“Web/アプリサービスを内包した形”で明確化し、改定 (<http://www.mlit.go.jp/common/001229934.pdf>)

国会答弁にて、自動車局長がCREWを適法と言及

《第197回臨時国会—2018年》国土交通省自動車局長より「通達に沿う」との旨



国土交通省自動車局長
奥田哲也氏

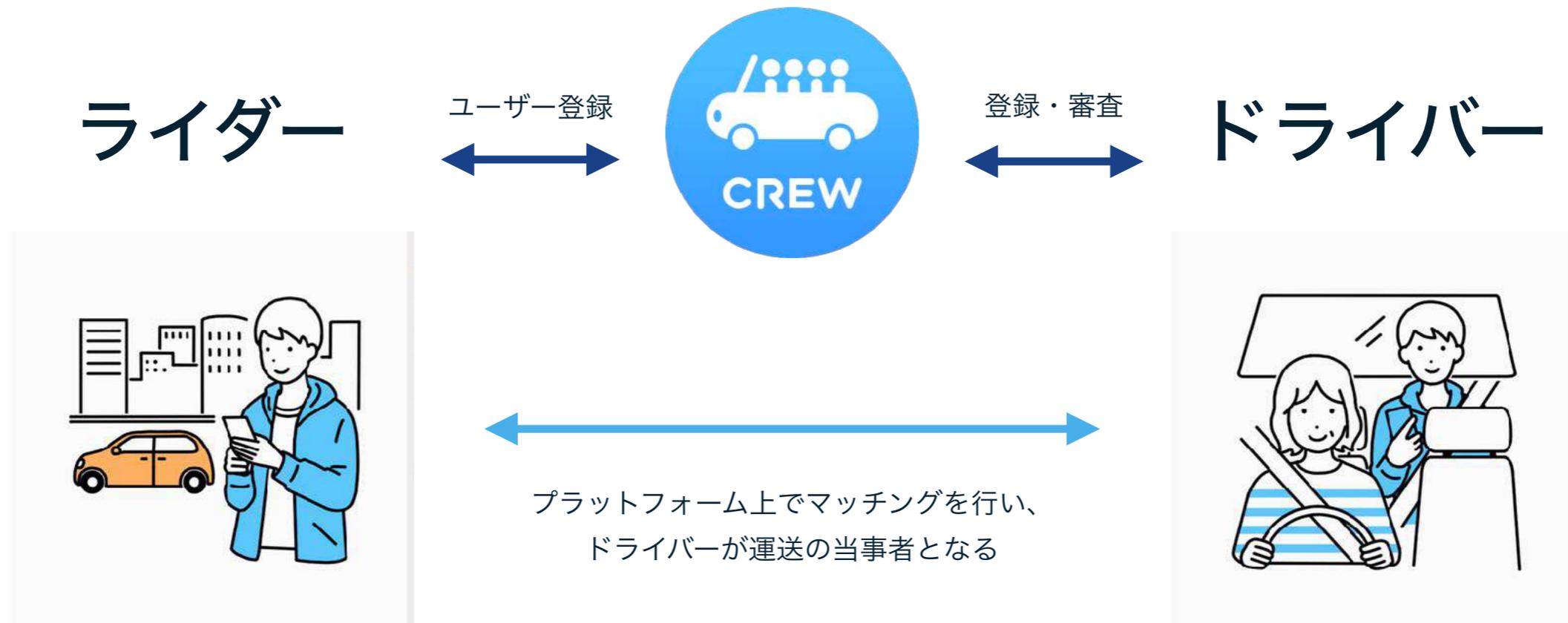
（奥田局長）ご指摘のCREWについては自家用自動車による運送にあたり、利用者が運転者に対して実際の運転に係るガソリン代や道路通行料の他に謝礼を支払う形態であると承知している。ご紹介いただいた、今年3月に改正した「道路運送法における許可または登録を要しない運送の対応について」の通達に沿ったサービスであると認識している。この通達では道路運送法上の許可または登録を要しない運送について、ガソリン代等の他に一定の金額を収受することが可能な範囲として、自発的な謝礼や仲介手数料の収受についてそれぞれ取扱いの明確化を行っている。この通達をふまえ、CREWに対しては、謝礼を誘引するような表現の修正だとか、運転者が謝礼の有無や金額で利用者进行评估することがないように、また利用者が謝礼の決定を経由しなくて決済できるようなシステムの修正、また運転者に対する手数料の還流防止について対応を求め、措置されたことを確認している。国土交通省としては、CREWによるサービスを引き続き注視して参りたいと考えている。

※ 速報版—国会議事録は別途公開予定

臨時国会中の国土交通委員会にて、CREWが通達に即した運営をしているとの答弁が行われた（公式議事録記載予定）
通達を元にした適切なサービス改善／日常的な行政とのリレーション等を鑑みて「通達に沿う」と認識されている

マッチング・プラットフォームとして展開

CRWEの運送形態（対象を限定しない無償運送）では
 プラットフォーマーが**運送の当事者となれず、運送責任もとれない**



ライドシェアにおいては
 プラットフォーマーも運送の当事者になれるようにし、運送責任もとれるようにすべき

**CREW**

安心・安全・信頼の
ブランド

1

交通事故等の緊急対応

- ・ 交通事故発生時のオペレーション設計（警察庁とすり合わせ）
- ・ CREW専用の保険商材を構築（引受会社：損保ジャパン）
- ・ 必要に応じて警察、救急への連絡代行

2

その他トラブル対応

- ・ ユーザー同士のトラブルは内容によって一部介入、解決のサポート
- ・ 車両の破汚損等の各種損害については一部金銭的サポート（ファースト東京株式会社との業務連携）

3

トラブルの事前回避

- ・ 連絡先交換の禁止（利用規約に明記）
- ・ 24時間のチャットサポート。場合によっては電話によるサポート
- ・ 想定ルートから外れたドライブを検知し、ユーザーに連絡をするオペレーション構築（異常ドライブ検知）
- ・ SOSボタンの設置（緊急時のヘルプ検知）

4

ドライバーの審査

- ・ 免許証/車検証/保険証の確認（本人確認含む）
- ・ 免許取得から1年以上経過しており運転実績が豊富な方のみを対象
- ・ 反社チェック（外部機関発出のリストと照合）
- ・ 審査通過後の研修や実際の利用において規約違反となる行為やトラブル行為を発生させたドライバーの排除

5

その他の安全対策

- ・ アプリにて、出発前にシートベルト確認のチェックボックスを設定
- ・ アルコール検知器の配布
- ・ 女性ライダーはツーシーターの車両にはマッチングしないアルゴリズム設計

+

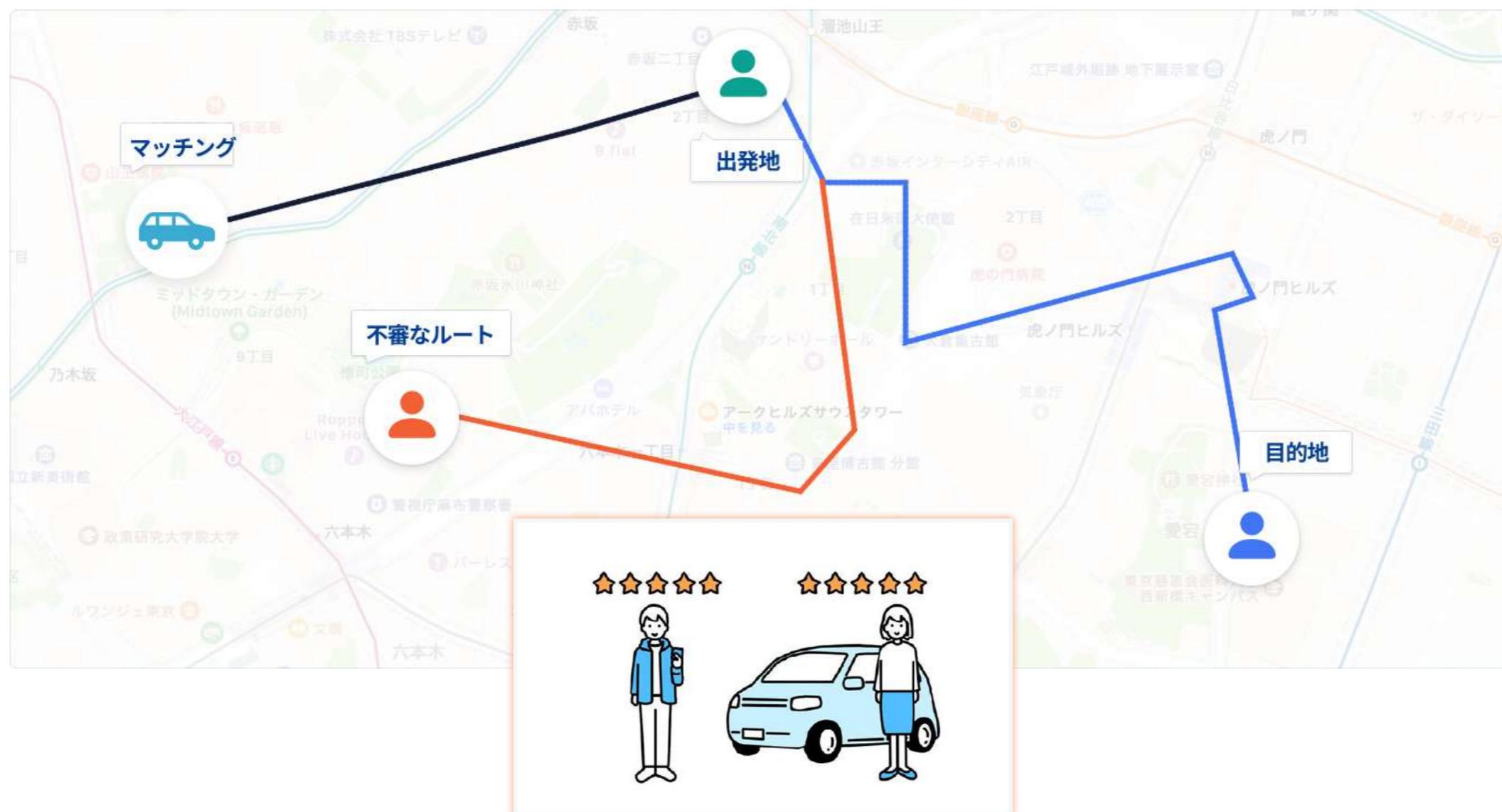
今後導入予定の安全対策

- ・ SOSボタンが押された際にセキュリティ人員が向かう仕組み
- ・ ドライブレコーダーの導入
- ・ ユーザーが身分証を提示することでユーザーグレードが上がる仕組み
- ・ 禁止行為を防止するためのポリシー発信/ユーザーへの周知

AIを用いた安全対策が可能に

異常ドライブ検知を例に

通行ルートとして想定されるルート（青ライン）とは別のルートを走るドライバー（赤ルート）を目視をする必要もなく、リアルタイムに検知 — 低コストかつ確実性の高い安全性の担保を実現



新據點廣告
(02) 8787-5869

ご清聴ありがとうございました。